



簡易バリ取りホルダー C10型

●WEB動画配信中
<http://www.fine-techno.co.jp/>

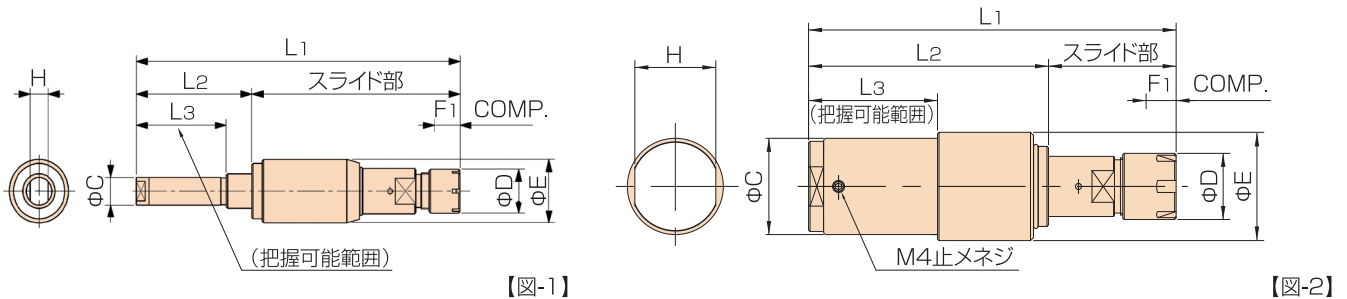


対応機種	マシニングセンタ	ロボットシステム	各種専用機
シャンク径	φ10	φ20	φ32
機構	伸び	縮み	傾き

簡易バリ取りホルダー C10型の特徴

- 軸方向への10mmの縮み機構を内蔵
ホルダーには、10mmの縮み機構を内蔵しており、バリ取り加工面に対して常時刃先を加圧しながら加工可能です。
- ワーク材質に合わせて刃物の押し当て力を調整可能
ホルダーには、標準で強さの違う3種類のバネを付属しています。加工するワーク材質に合わせて、ご自由に内蔵するバネを交換して頂くことが可能です。

簡易バリ取りホルダー C10型 寸法 (単位/mm)



機種	シャンク径	L1	L2	L3	C	D	E	H	F1	本体重量 (kg)	図
C10-10	10	126	45	35	10	16	23	7	10	0.18	1
C10-20	20	112	75	40	20	16	25	13	10	0.22	2
C10-32	32	123	80	43	32	22	36	27	10	0.53	2
C10-20L	20	172	135	100	20	16	25	13	10	0.35	2
C10-32L	32	180	137	100	32	22	36	27	10	0.82	2

- 最高許容回転数は10,000min⁻¹です。
マシニングセンタではお手持ちのミーリングチャックに取り付けてご使用下さい。
- 先端のコレット部は、実績のあるDIN規格16°テーパーを採用。
- コレット部の把握範囲は、ER11がφ0.5~φ7mmまで、ER16がφ0.5~φ10mmまで把握可能です。※把握サイズに合ったコレットが必要です(別売)。
- M4 止メネジを六角レンチで緩め、H寸法の2面部にスパナを掛けて、調整ナットを外します。中にあるバネを付属品の他のバネと交換して、再び調整ナットを締め込み、M4止メネジを締めることにより縮みバネが簡単に交換可能です。※C10-10型にはM4止めネジはありません。

注1. 本ホルダーはバリ取り専用です。他の用途にはご使用にならないで下さい。
 注2. ミーリングチャック等へシャンク部を取り付ける場合は、締め過ぎにご注意下さい。ミーリングチャックメーカーの推奨する締め付けトルクにて締めるようにご注意下さい。
 注3. サイドロックホルダー等でのご使用はしないで下さい。片側から締め付けた場合、シャンク部が変形してスライド部分が動かなくなる可能性がありますのでご注意下さい。

簡易バリ取りホルダー C10型 付属品 (単位/mm)

ERテーパーコレット

- 各ホルダーには、ER11-φ6コレット又は、ER16-φ6コレットが1個付属しております。

機種	コレット形式	軸径d	L4	D2	専用ナット
C10-10	ER11-φ6	6.0	18.0	11.5	ERM11
C10-20	ER11-φ6		18.0	11.5	ERM11
C10-32	ER16-φ6		27.5	17.0	ERM16
C10-20L	ER11-φ6		18.0	11.5	ERM11
C10-32L	ER16-φ6		27.5	17.0	ERM16

ERM型ナット

- 各ホルダーには、ERM11ナット又は、ERM16ナットが1個付属しております。

機種	ナット形式	A	B	専用スパナ
C10-10	ERM11	16.0	12.0	E11M
C10-20	ERM11	16.0	12.0	E11M
C10-32	ERM16	22.0	18.4	E16M
C10-20L	ERM11	16.0	12.0	E11M
C10-32L	ERM16	22.0	18.4	E16M

C10型 専用スパナ

- 各ホルダーには、E11Mスパナ又は、E16Mスパナが1個付属しております。

機種	ナット形式	E	F
C10-10	E11M	17.5	102.5
C10-20	E11M	17.5	102.5
C10-32	E16M	22.5	117.5
C10-20L	E11M	17.5	102.5
C10-32L	E16M	22.5	117.5

ここに記載した製品の仕様及び外観は、予告なしに変更することがあります。